



静岡県熱海市

静岡県熱海市中心町1番1号
 担当課:健康福祉部 長寿介護課
 TEL 0557-86-6323 FAX 0557-86-6264
<http://www.city.atami.lg.jp/>
 E-mail chojusomu@city.atami.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 61.78km² (東西7.52km 南北13.90km)

(2)人口 (人)

S40国調	H17国調	H22国調	H27国調	R1.10.30住基
54,540	41,202	39,611	37,544	36,596
65歳以上人口比率(R1.10.30)				47.5%

(3)世帯数

S40国調	H17国調	H22国調	H27国調	R1.10.30住基
13,887	19,628	19,740	18,846	21,488

(4)沿革

昭和12年 熱海町と多賀村が合併し、熱海市が誕生しました。昭和32年には、網代町を編入合併し、現在に至っています。

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口
	H22国調	H27国調
1次	286人 1.6%	265人 1.6%
2次	2,159人 12.0%	2,045人 12.3%
3次	15,102人 83.7%	14,120人 85.2%
他	500人	136人
計	18,047人	16,566人

本市の概要

熱海市は静岡県の最東部、伊豆半島の北東部に位置し、県境を挟んで神奈川県と接しています。また、市域には県内唯一の有人離島である初島を有しています。

温暖な気候、豊富な温泉資源、海と山に囲まれた風光明媚な自然環境により、古くから湯治場として近代日本の礎を築いた政治家や実業家、多くの文人墨客に愛され、別荘地、温泉リゾート都市の代表として栄えてきました。

平成29年には、新しい熱海駅舎・駅ビルが完成し、国際観光温泉文化都市である熱海市の玄関口であるとともに、伊豆東海岸、伊豆半島の玄関口として多くの観光客を出迎えています。豊富で良質な「温泉」、新鮮な海の幸を代表とする「食」、ジャカラダ遊歩道や梅園の梅、糸川のあたま桜などの「花」、錦ヶ浦や走り湯などの「伊豆半島ジオパーク認定スポット」をはじめとする豊かな自然の恩恵をうけ、訪れる人々に様々な熱海を楽しんでいただいています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

熱海市ではこれまで、平成25年に策定した熱海市健康増進計画において、「こころ」の健康増進のため、メンタルヘルスの普及啓発や、心の相談窓口の充実を図ってきました。さらに、平成28年の自殺対策基本法の改正を受け、平成30年3月に「いのち支える 熱海市自殺総合対策計画」を策定しました。

自殺対策を市全体で「生きることの包括的な支援」として総合的に推進することにより、「誰も自殺に追い込まれることのない“住まうまち熱海”」の実現を目指しています。

<具体的な取組み>

(1)総合的な取組みの推進・関係機関との連携

◆「熱海いのち支える会議」の設置(平成29年度～)
福祉事務所を中心として庁内関係部署で構成し、「定期会議」「ケース会議」の両輪で生きることの包括的な支援を推進しています。定期会議では計画の進捗管理、検証等を行っているほか、連携体制の構築や強化を図っています。また随時開催しているケース会議では自殺ハイリスク者に対する総合相談の場、また効果的な支援につなげるための場として職員や関係機関との連携を図っています。

◆普及啓発事業の実施

①自殺予防啓発の街頭キャンペーン

9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間、また市内で毎年開催している健康まつり、福祉まつりにおいて啓発品を配布し、市民が自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応ができるよう啓発を実施しています。

(啓発品:こころの健康パンフレット・相談関係窓口一覧表・プチタオル)

②自殺対策講演会の実施

市民の自殺予防に対する関心と理解を深めるため、平成30年11月に開催した第54回熱海市社会福祉大会において自殺対策に係る講演会を実施しました。

講師:NPO法人自殺対策支援センター 代表 清水 康之氏

テーマ:誰も自殺に追い込まれることのない“生き心地の良い熱海市”を目指して
～地域のつながりが命を守る～